

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX; 0595 (21) 8839

URL:<http://www.iga.ed.jp/igaken>

E-mail:iga-ken@iga.ed.jp

本日、令和4年度の修了式を迎えました。今年度も、コロナ禍の中、大変ご苦労いただいた一年間でしたが、そのような状況の中で教育活動のさらなる充実に向けて新たに創り上げたこともたくさんあったことだと思います。この一年間、大きな事故なく終えられたことに心より感謝申し上げます。本当にお疲れさまでした。

年度末の事務処理や次年度の校(園)内体制づくり、新学期の準備など息つく間はありませんが、少しはゆっくりしていただいてエネルギーを補充し、4月を迎えたいものですね。

センター活動の2022年度を振り返って♪

～「伊賀市教育研究センター事業・活動報告書」より～

新型コロナウイルス感染により学校・園生活や日常生活に大きな変化が起きてから、早3年が経ちました。この間、学校・園では、感染拡大防止に全力をあげる中、教育活動や行事の見直し・精選を余儀なくされました。このような厳しい状況でも、日々の授業を大事にするとともに、学校行事・学年活動等のねらいを改めて確認しながら再構築し、教育活動を積み上げてきました。



当センターにおきましてもコロナ禍の大きな影響を受けましたが、教職員の皆さんの学びの場を保障するという方針のもと、研修機会の確保と充実にも努めてきました。今年度は、30講座を予定していましたが、すべての講座を実施することができました。受講された約93%の方から「満足」の声をいただきました。多くの教職員の皆さんにご参加いただき、改めて感謝申し上げます。

特に、昨年度からの重点課題であるGIGAスクール構想の実現、1人1台端末を活用した授業づくりや、端末を活用した児童生徒への指導・支援の充実について継続して研修を行い、具体的実践を紹介し合いながら学び合いました。また、成和西小学校・緑ヶ丘中学校の研究発表会では、両校の研究実践を参加者で共有しながら、タブレットパソコンを活用した児童生徒が主体的・対話的に学ぶ授業づくりについて学びを深めることができました。

さて、伊賀市では新規採用教職員が激増しています。今年度は51名の方が伊賀市の小中学校に着任されました。それぞれの学校や共同実施の場で温かく指導・支援していただいておりますが、当センターとしましても、初任者の方々が「元気に!」「自信をもって!」子どもたちの前に立てるように研修を企画し、支援していくことがとても重要な責務になっていると痛感しています。授業づくりの基本や人



権を基軸にしたなかまづくりを進めていく手立てを学ぶこととともに、初任者どうしのいわゆる横のつながりを大切にできる場をつくっていくことも求められていると認識しています。そのためには、これまでのような単発的な研修だけではなく、年間を通して継続した学びが展開できるように、実施回数や内容・持ち方を工夫・改善していく必要があると考えています。

ふれあい教室では、不登校児童生徒の心の居場所をつくりながら学習を進めてきました。まだまだ例年通りの活動が難しい一年でしたが、日々の学習や行事の中で子どもたちの笑顔や会話があふれていました。ふれあい発表会で生き生きと発表する姿も感動的でした。参観いただいた方々にも一緒にクイズを考えたり鳴子を演奏したりしていただき、温かい発表会になりました。お別れ会(中3生を送る会)では、ふれあい教室で学び成長した自分自身を振り返るとともに、新たな進路先で自信を持ってチャレンジしていくという決意を力強く宣言する中3生の姿に胸が熱くなりました。

また、学校や担任と連携しながら不登校児童生徒の実態把握を行うとともに、当該児童生徒や保護者への支援やカウンセリングを実施してきました。教育相談では、面談や電話等を通して児童生徒・保護者の悩み相談や子育て相談を、相談者に寄り添いながら進めてきました。さらには、学校や関係機関とも連携し、早期に問題解決が図れるよう支援体制の充実に努めてきたところです。

当センターでは、学校・園との連携を常に大事にしながら上記の取組を進めてきましたが、日々変化する状況や学校・園のニーズを的確かつタイムリーに把握し、教育現場に少しでも役に立つ取組・活動を展開できるよう、チェンジ&チャレンジしていかなければならないと考えています。

教職員・関係機関の皆様のご理解・ご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後も一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

第2回教育研究センター運営委員会開催♪

3月20日(月)、第2回教育研究センター運営委員会を開催しました。当センターの事業・活動報告(研修講座の実施状況、ボランティア・ティーチャーの活用状況、会議室等用の利用状況、ふれあい教室の活動報告、教育相談事業の概要等)を行った後、運営委員の皆さんからご意見をいただきました。「ボランティア・ティーチャーの活用について再検討する時期にきているのではないか。」「教職員(特に若い世代)にとってありがたい研修講座となっているので次年度もよろしくお願ひしたい。」「満足度(特にC・D評価)をもとに次年度の研修講座につなげていくことを大事に。内容によっては実施時期の変更も考えてみてほしい。」「ふれあい教室の取組や子どもたちの成長がよくわかった。ふれあい教室について周知・啓発をさらに進めていきたい。」等、いただいたご意見を大事にしながら、次年度の活動・取組にいかしていきます。



雑感：この一年間を振り返ると、あっという間だったというのが実感です。私事ですが、当センターに勤務し丸3年が経ちました。この間、多くの教職員の皆さんと出会い、たくさん話をさせてもらったことがとても心に残っています。学校訪問もよく行かせていただきました。そのたびに元気いっぱい学ぶ子どもたちや、子どもの成長を願ひ子どもと真摯に向き合う教職員の皆さんからたくさんのパワーをいただきました。私は、今月末でこの職から離れますが、これからも教育研究センターの事業にご理解・ご協力をいただきますよう心よりお願ひし、「雑感」を終了させていただきます。3年間、ありがとうございました。